

講義科目	: 社会福祉援助技術現場実習指導 I	単位数	: 3
担当	: 北村 香織	学習形態	: 自由選択科目 社会福祉士必修科目
		実務経験	: 有
			* 第1学年で履修

### 講義の内容・方法および到達目標

社会福祉施設での現場実習に臨むにあたり、施設の社会的位置づけ、役割、課題などについて学び、考察を深める。それらを通して自分自身が取り組むべき課題を明確にした実習計画を作成することをねらいとする。同時に対人援助職に必要な倫理的感情、マナーの習得を目指す。

また、講義・演習などで学んできたソーシャルワークに関する知識や技術を実践的にどのように展開するかを検討できる能力を修得する。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション (実習指導とは、スーパービジョンとは)
- 第2回 実習の意義と目的及びマナーについて (実習先で必要とされる価値規範、知識や技術について。実習の際の遵守事項など。)
- 第3回 実習施設の持つ歴史について (報告1)
- 第4回 実習施設 (入所) の種類と法的背景、概要について (報告2)
- 第5回 実習施設 (入所) の現状と課題について (報告3)
- 第6回 実習に向けて
- 第7回 実習施設 (通所) の種類と法的背景、概要について (報告4)
- 第8回 実習施設 (通所) の現状と課題について (報告5)
- 第9回 社会福祉施設の現状と課題について (報告6)
- 第10回 実習計画書の作成 (実習目標を定める)
- 第11回 実習計画書の作成 (実習目標にあわせた具体的実習計画の作成)
- 第12回 実習計画書の作成 (実習計画書の添削)
- 第13回 実習記録の作成指導1 (実習記録の書き方)
- 第14回 実習記録の作成指導2 (実習記録の実践的練習と添削)
- 第15回 個別指導・実習先における体験学習や見学実習

### 教材・テキスト・参考文献等

『社会福祉小六法 2021』ミネルヴァ書房。

山縣文治・柏女霊峰編 (2013) 『社会福祉用語辞典 第9版』ミネルヴァ書房。

### 成績評価方法

試験は実施しない。出席(50%)、演習への参加度と報告内容(50%)によって総合的に評価する。

### 実務経験

障害者支援施設で支援員として勤務していました。利用者支援に関する具体的な魅力や難しさについてもお伝えしながら、実習に向けて準備を進めます。

### その他

この授業は実習に必要な知識やマナーを身につけるために、段階を追って確実に作業を行うことが求められます。さらに、授業中もその場で考え発言することが必要となりますので、出席を重視します。

実習は学外へ出て行うため、責任を持った行動が求められます。また、対人援助の現場での実習に向けて、深い知識と高い倫理性を持つことが必要となります。授業には積極的に取り組むこと。